



循環する地域拠点

—旧木幡第二小学校のリノベーション—

01 敷地分析



二本松市章

二本松市

◇地理・立地

福島県の中通り北部に位置し、阿武隈山系に囲まれた地形

福島市から約20km南

東北自動車道が市内を通過（二本松IC）

JR東北本線が通過

◇課題

人口減少と高齢化への対応

震災・原発事故からの地域再生

農業の担い手確保と産業振興

観光資源を活かした交流人口の拡大



01 敷地分析

二本松市東和地区竹ノ内集落

◇人口立地と自然環境

山間部に位置する典型的な中山間地域の集落

周辺は森林に囲まれ、棚田や畑地が点在する農村景観

◇人口・社会構造の特徴

高齢化と人口減少が進行（高齢化率4割）

農村コミュニティの機能の弱体化が懸念

◇産業・生業

稲作を中心とした農業



01 敷地分析

- 人口減少、高齢化、過疎化

- 産業・雇用の創出

- 交流人口の増加

⇒木幡第二小学校跡地を活用し、

上記課題の解決を目指す

提案

コンセプト

資源の循環（食の地産地消）

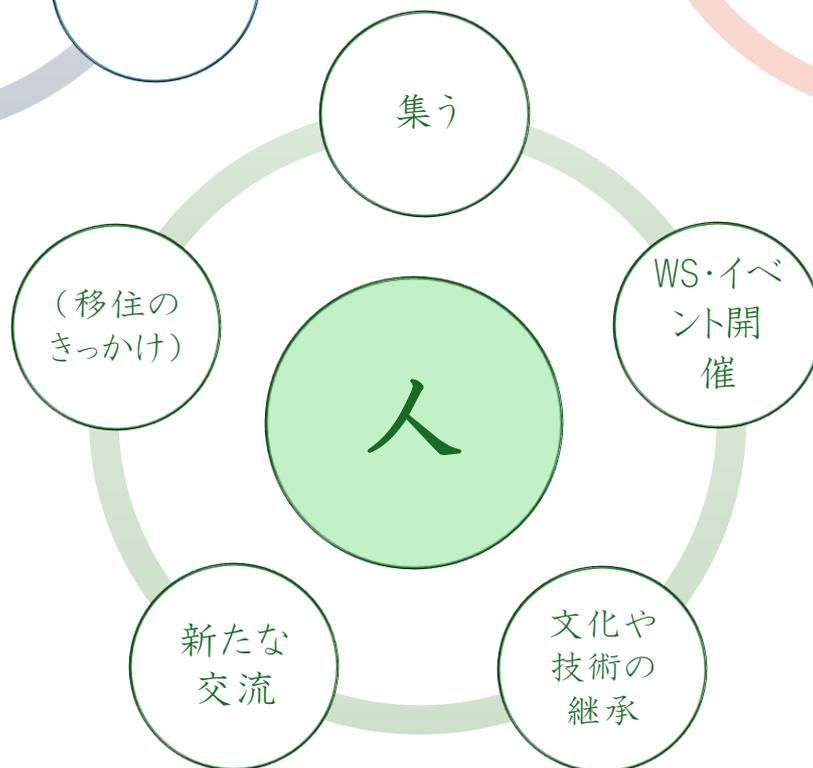
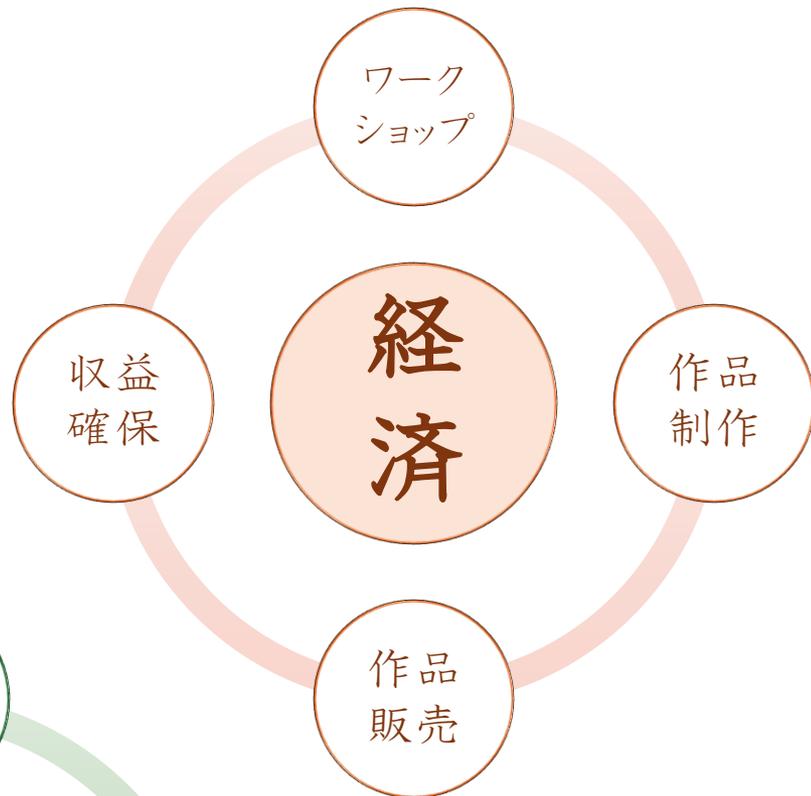
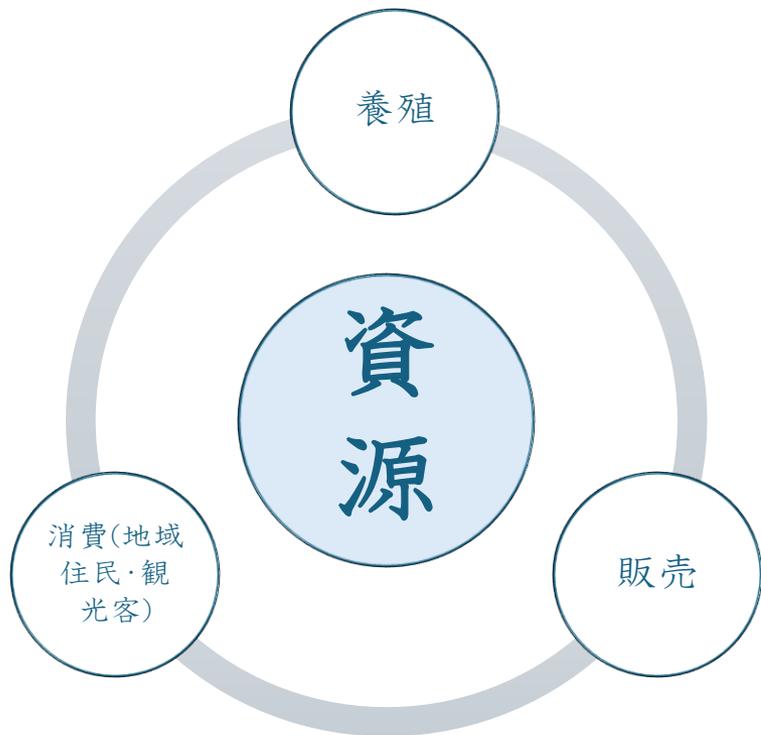
養殖の魚を地域販売

経済の循環（雇用創出、観光促進）

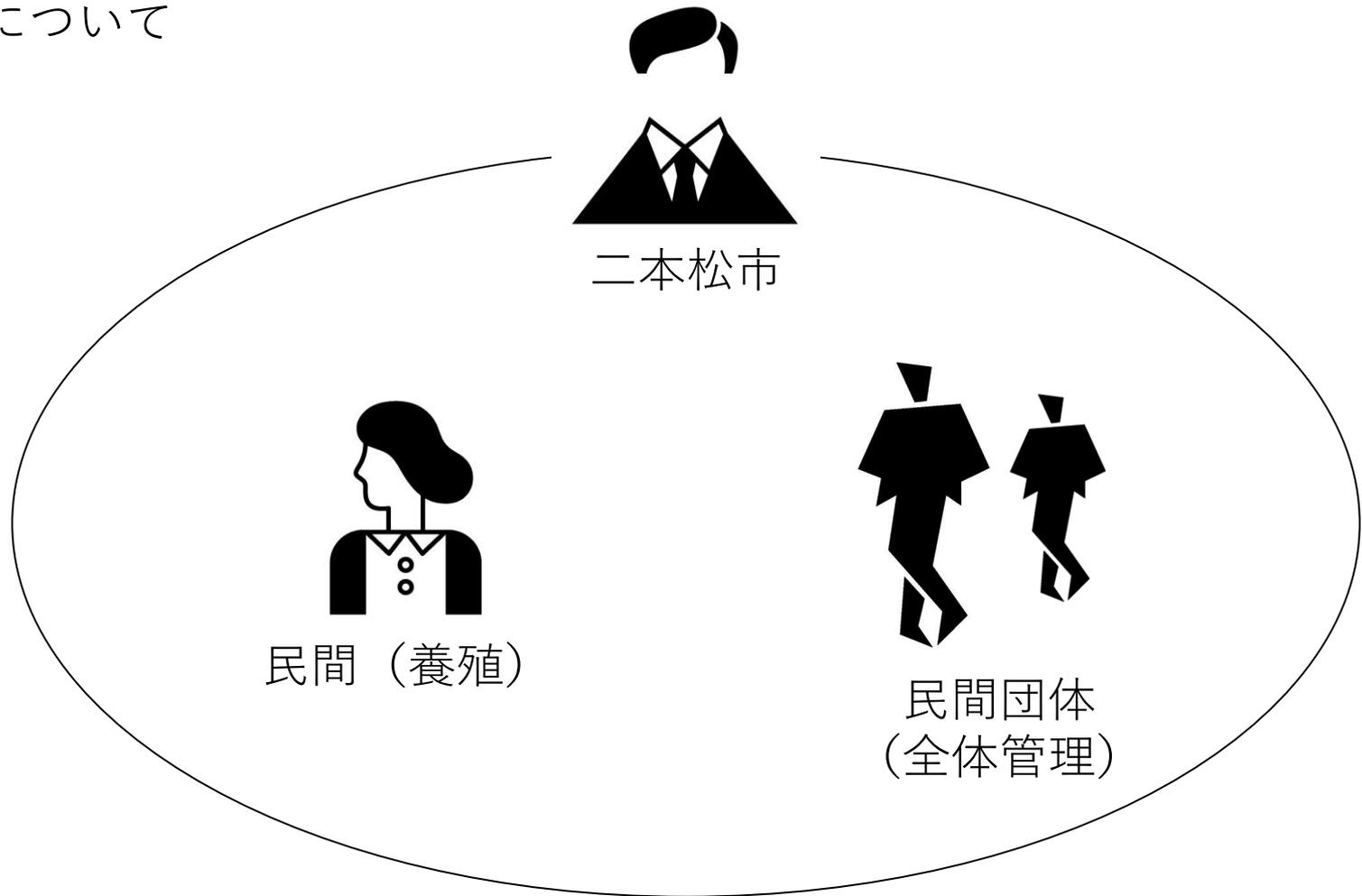
アーティストによるワークショップで制作した作品を販売し、収益を活動資金

人の循環（多様な人との交流、地域文化の継承）

地域住民、アーティスト、学生、観光客が交わる「交流の場」として機能

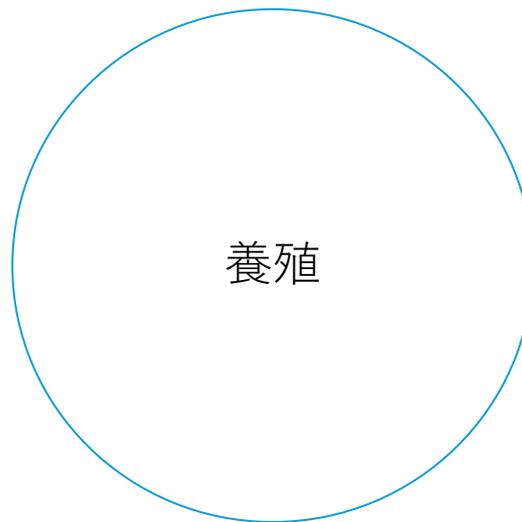
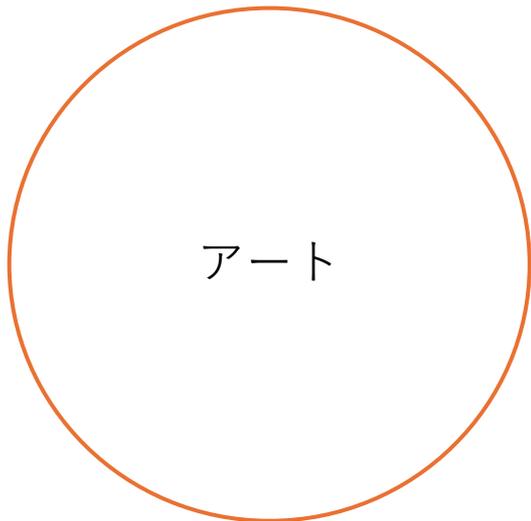


運営について

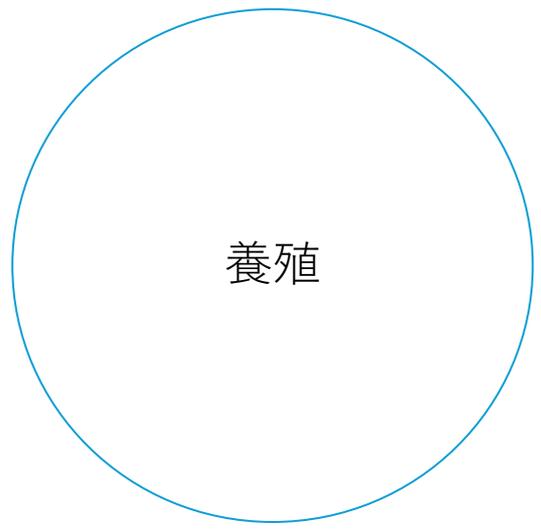
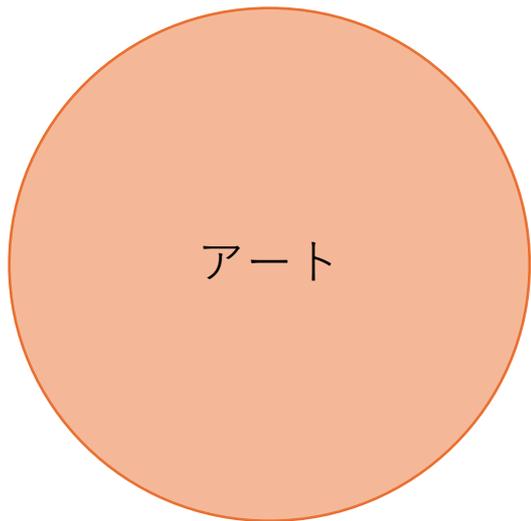


二本松市が主体となりながら、地域に雇用を創出

提案

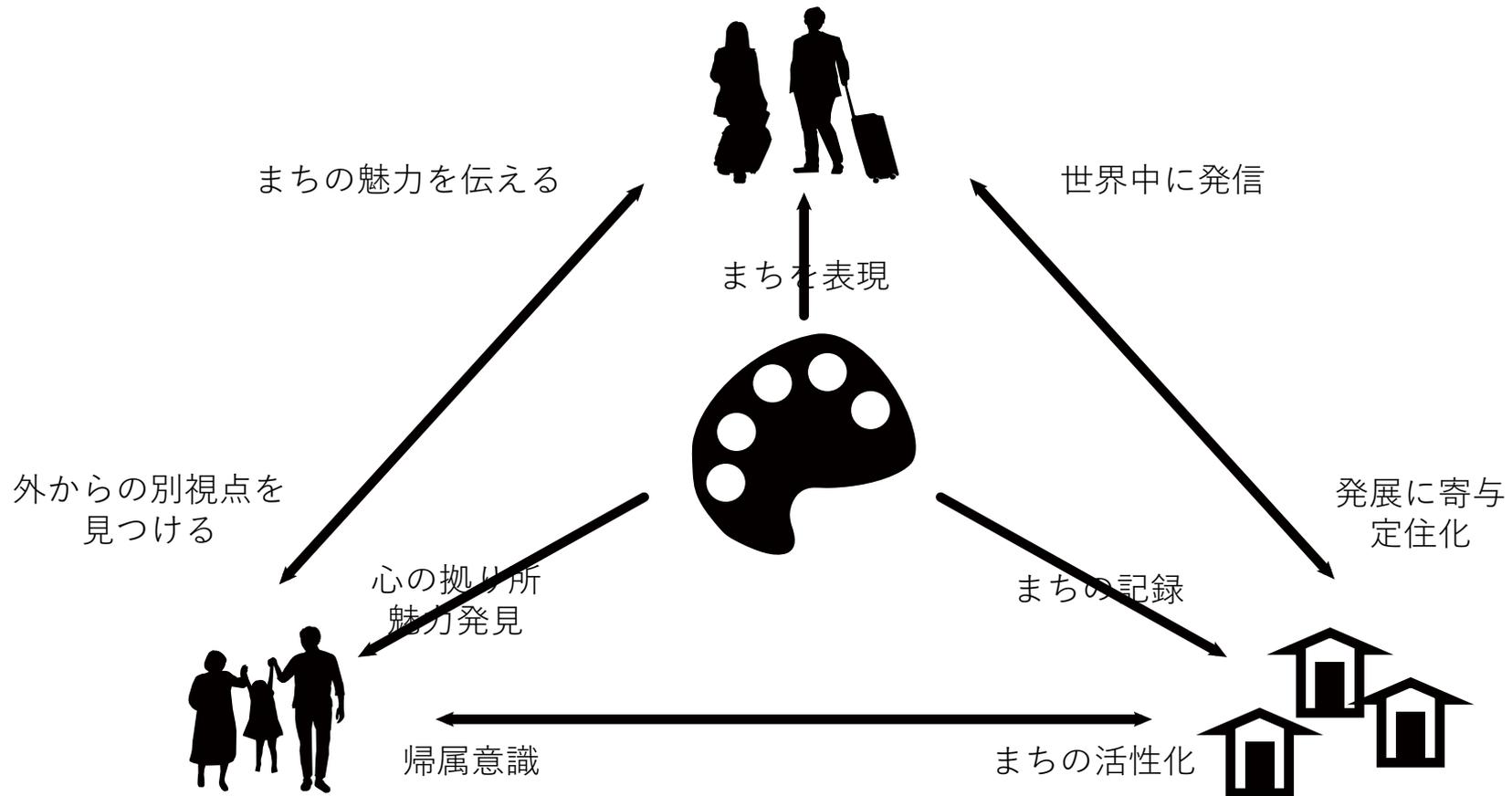


新たな地域の魅力へ
アートを身近に
養殖を軸に



この地におけるアートとは

①アート



観光客・地域住民・まちがアートを通して、それぞれ相互に高め合う関係が構築される。

アーティストインレジデンスを行い、まちに触れながらアートを作成する。

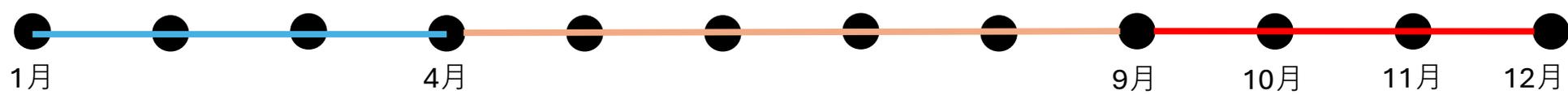
①アート

1~3月 アート教室開催

4~9月 アトリエでのアート制作

9~12月 アートイベント

和紙アートコンクール
菊の祭典
重陽の芸術祭



①アート

1~3月 アート教室開催



既存のアート教室¹⁾

対象：地域の子ども
地域住民が気軽にアートに
触れられる



地域住民のまちに対する
帰属意識を高める



本提案のアート教室²⁾

対象：観光客
宿泊しながら地域のアート
に触れる



外部からの視点でのまちの
特徴を発信する

①アート

4~9月 アトリエでのアート製作



和紙アートコンクール³⁾

↓
和紙



菊の祭典⁴⁾

↓
菊



重陽の芸術祭⁵⁾

↓
絵画
インスタレーション



アーティストインレジデンス⁶⁾

アーティストによるワークショップで制作した作品を販売し
収益を活動資金にする

①アート

9~12月 アートイベント



和紙アートコンクール³⁾



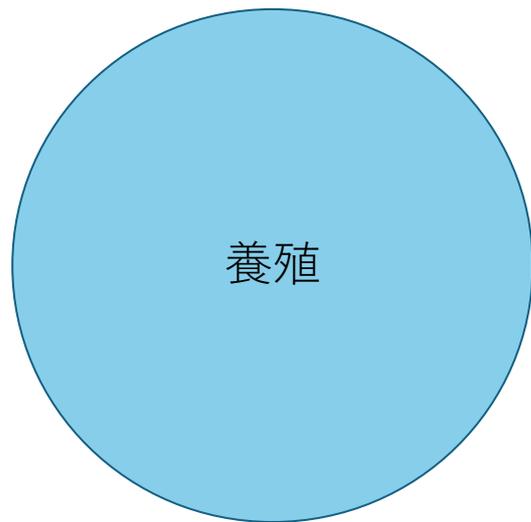
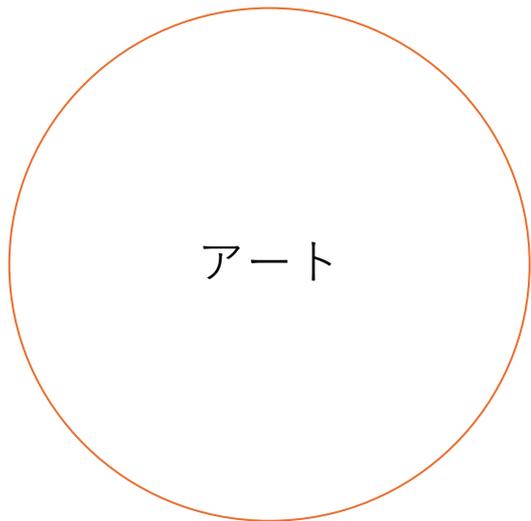
菊の祭典⁴⁾



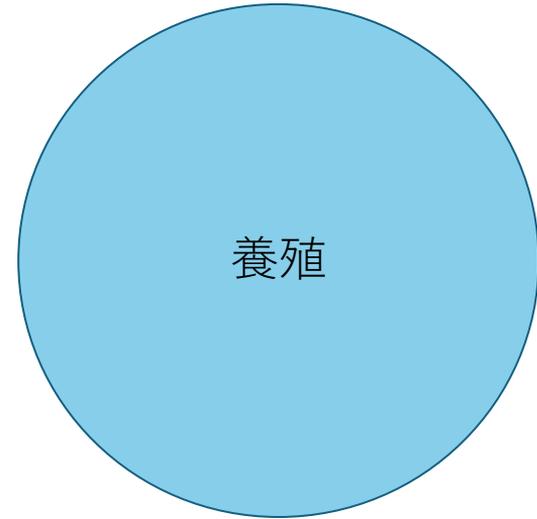
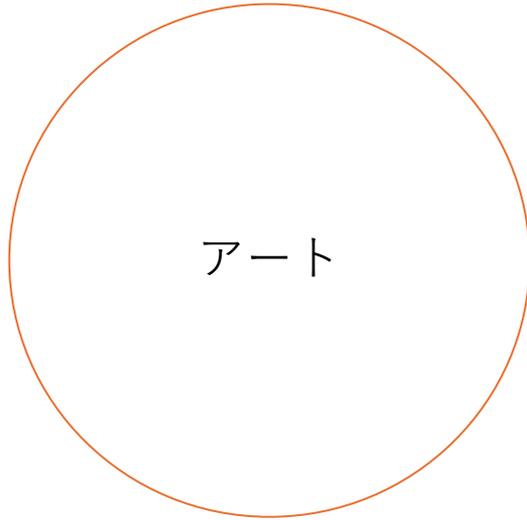
重陽の芸術祭⁵⁾

アート関連イベントへの出典

アトリエでのアート製作でアートイベントの集客を増加させる
地域住民の帰属意識を高め、観光客への魅力伝達をする



養殖で新たな産業

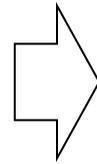
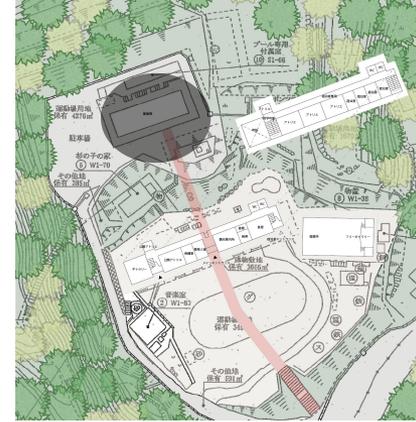


養殖で新たな産業

地域の飲食店とも連携し、持続可能な食の提供へ

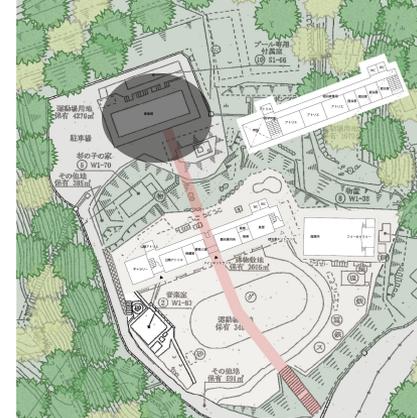
②養殖（旧プール）

現状



プールを活用した
養殖施設

②養殖（旧プール）



養殖の方法

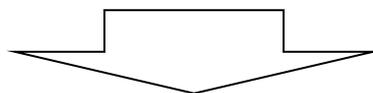
①かけ流し式陸上養殖

②半閉鎖循環式陸上養殖

③完全閉鎖循環式陸上養殖

— 自然環境にある海水や河川の水を恒常的に水槽内に送り込み、水槽内の水を排水

— 養殖開始時の飼育水を循環ろ過・殺菌し続ける

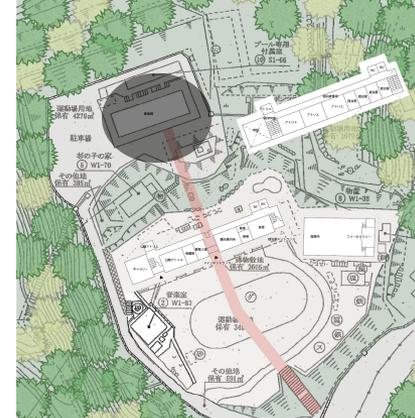


川などが近くにはない旧木幡第二小では

③完全閉鎖循環式陸上養殖が適している

②養殖（旧プール）

完全閉鎖循環式陸上養殖成功の事例



株式会社いちい（福島市）・岡山理科大学・NTT東日本
ベニザケを養殖する実証実験を実施
養殖事業実現化を目指している

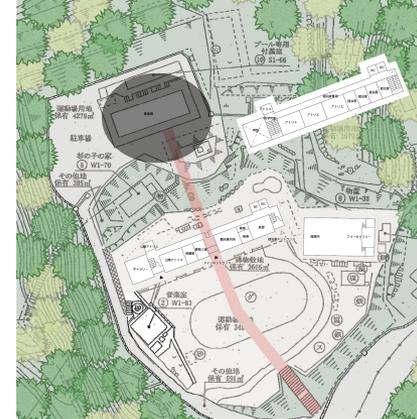


養殖の様子⁷⁾



ベニザケ⁸⁾

②養殖（旧プール）



◇ニュースの報道（FNN）⁹⁾によると・・・

①陸上養殖によって、安心安全で安定供給できる

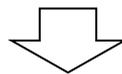
②**廃校などを有効活用**して、地域産業の構築を検討

◇革新的な取り組みを伝える国際ニュースサービス（JSTORIES）によると・・・

①ベニザケの養殖は、環境の**持続可能性**や生産効率の向上

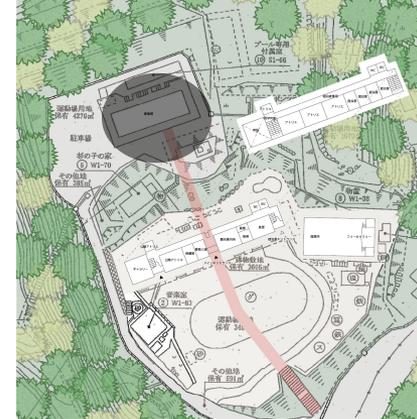
②養殖事業によって新しい**産業を創出し**、**地域を活性化**させることも期待

③季節の制約を受けず、年間を通して安定して**労働者を雇用**することが可能



循環型の産業であり、廃校を活用できる！

②養殖（旧プール）

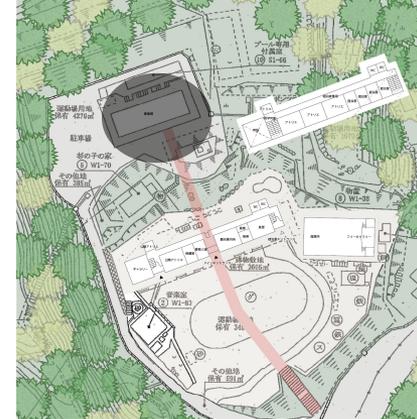


「陸上養殖」による地域の活性化(循環型社会の実現)

➢ 「陸上養殖」により街の新たな可能性と価値を見出し、持続可能で豊かな社会を創る



②養殖（旧プール）



旧木幡第二小学校のプールを
3機関が取り組むベニザケ養殖の事業地に

現状



イメージ¹⁾



課題：3機関への提案、地元地域の理解が不可欠

配置計画

シェアアトリエ
兼宿泊施設 (2F)

養殖
栽培

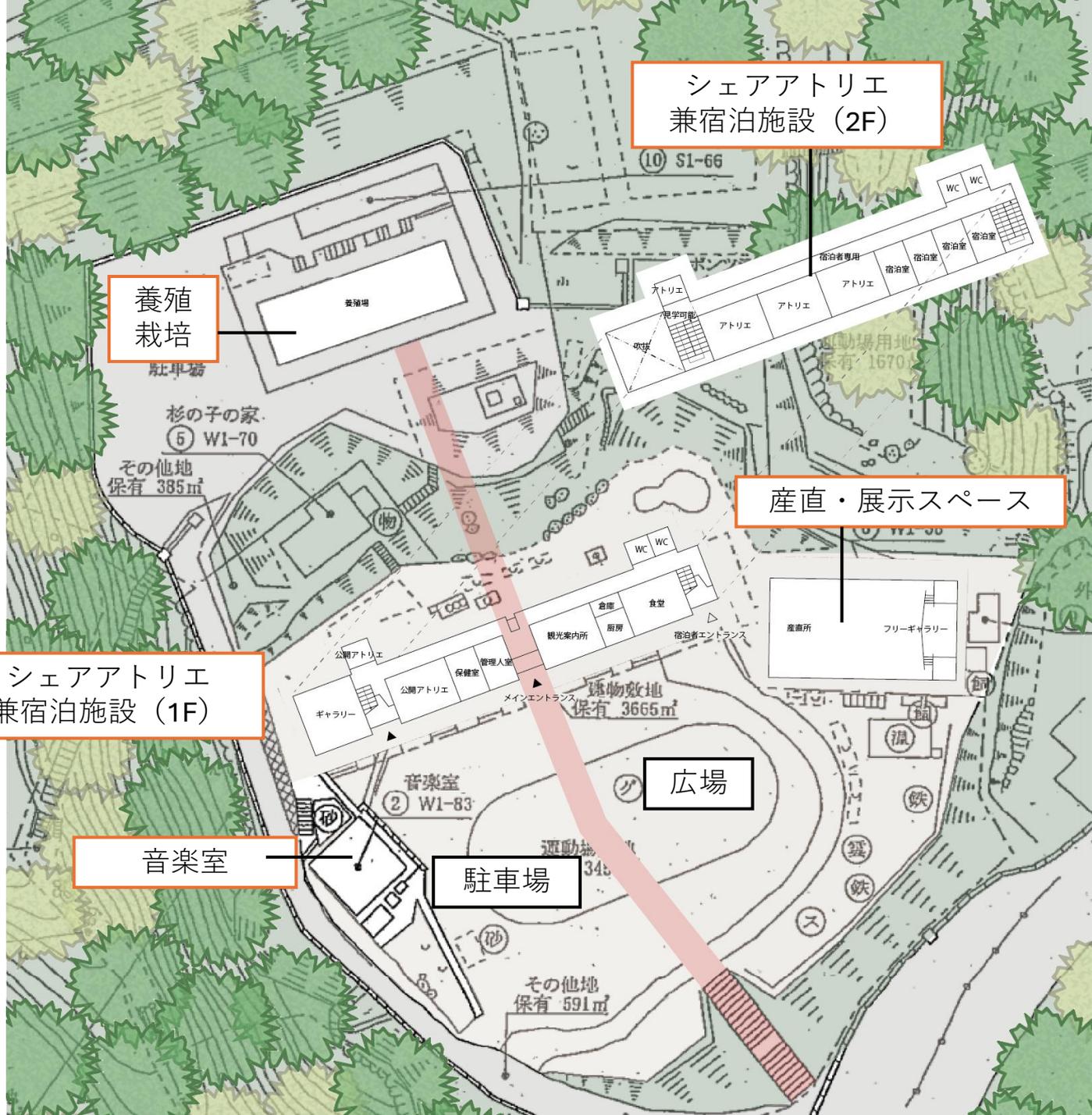
産直・展示スペース

シェアアトリエ
兼宿泊施設 (1F)

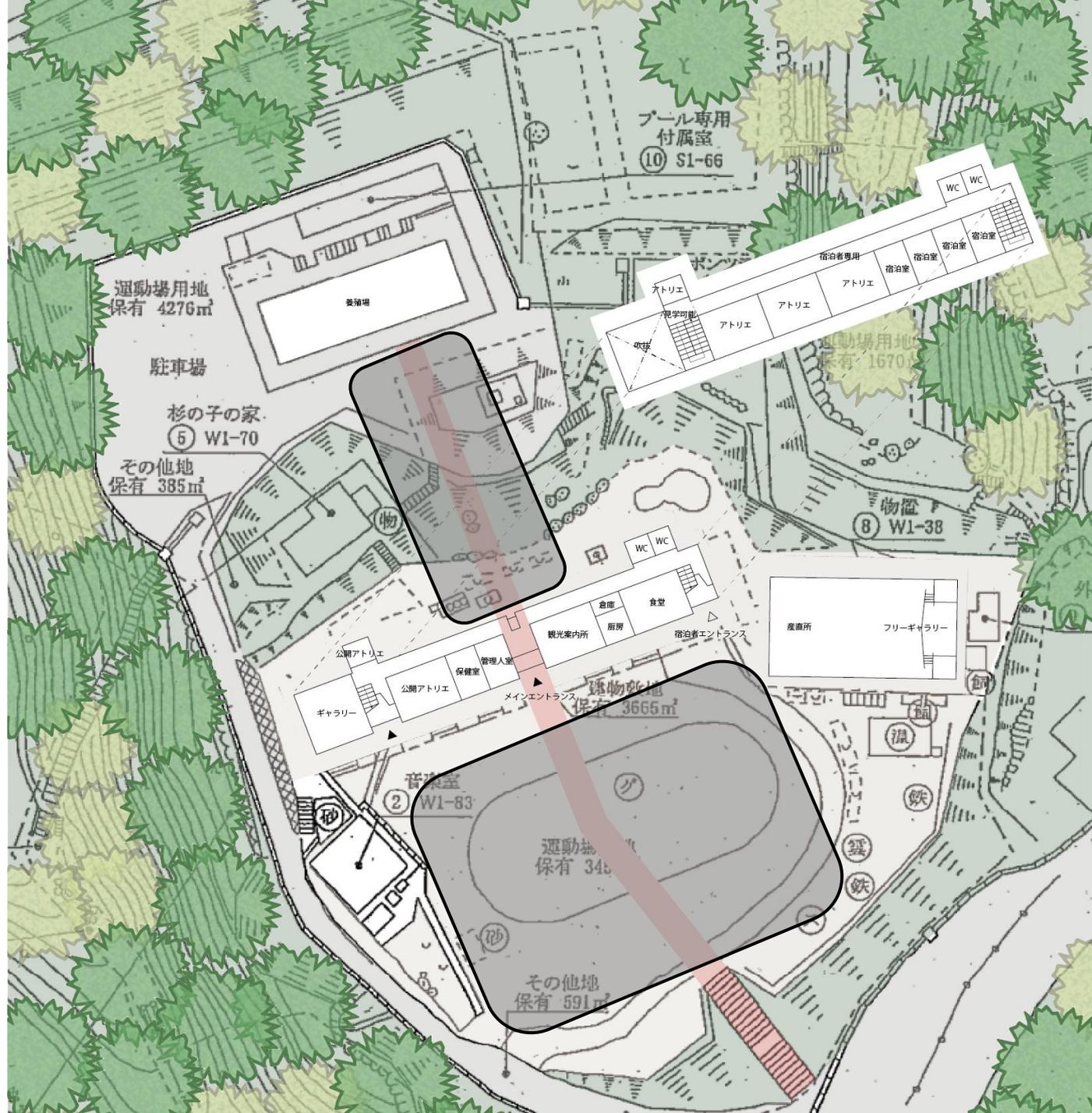
音楽室

駐車場

広場



①グラウンド・軸







屋根

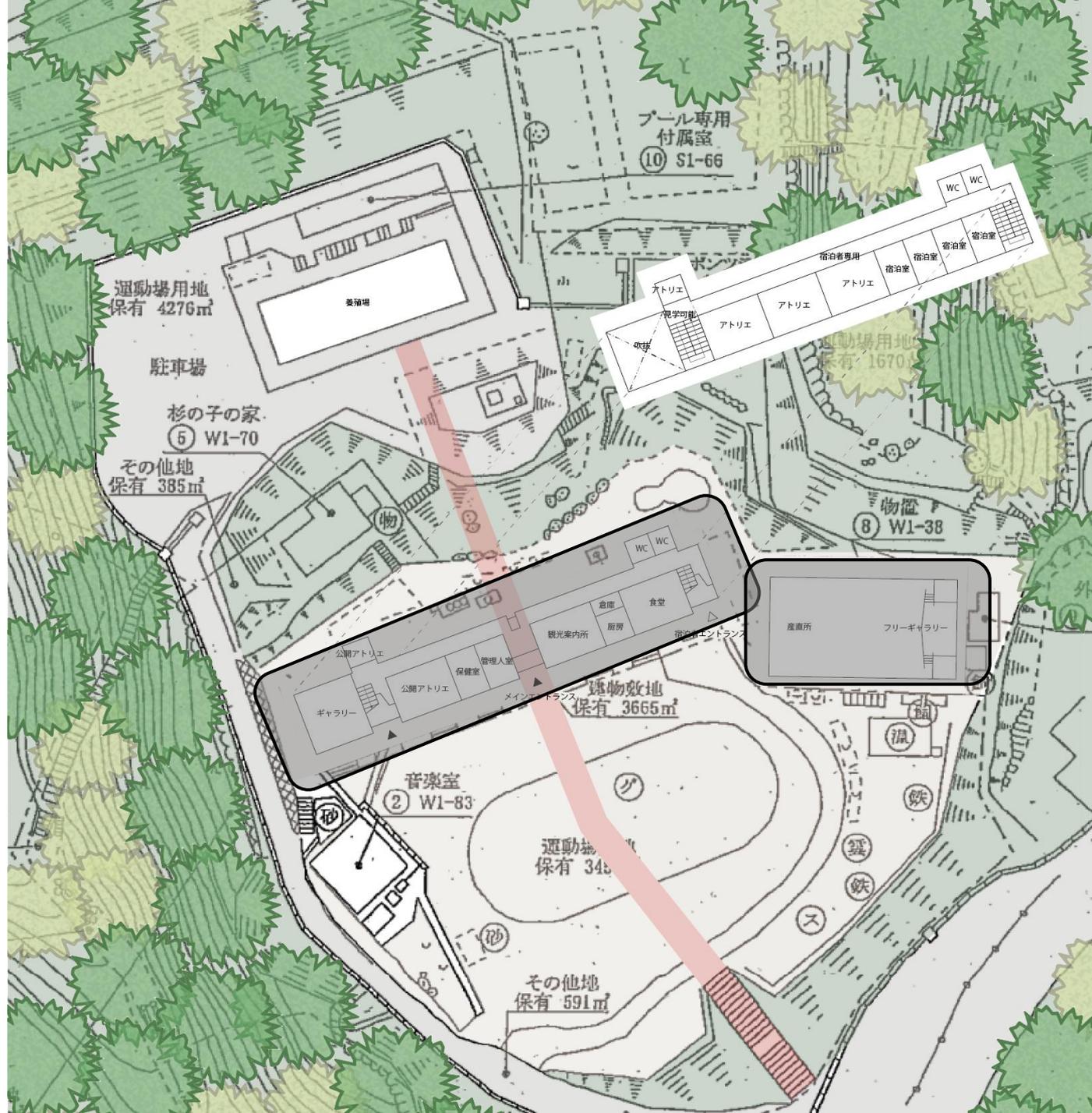
エントランスにモダンな屋根を設けることで、視認性を向上させるとともに、溜まり場をつくる。



軸を設置することで、動線を明確にし、校舎への方向性を示す。



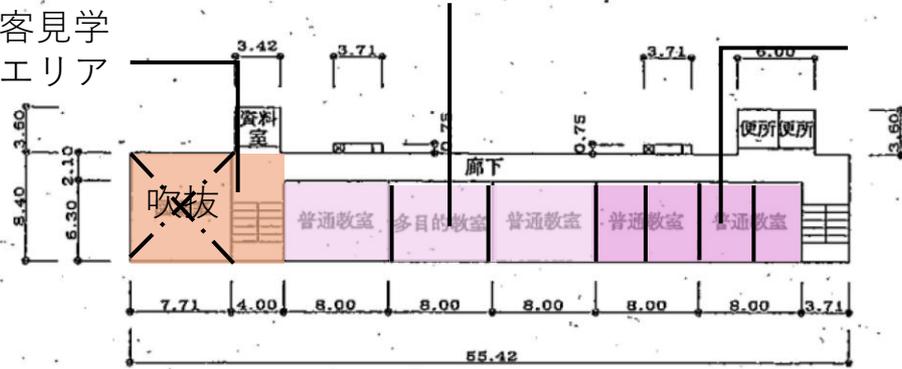
②校舎と体育館



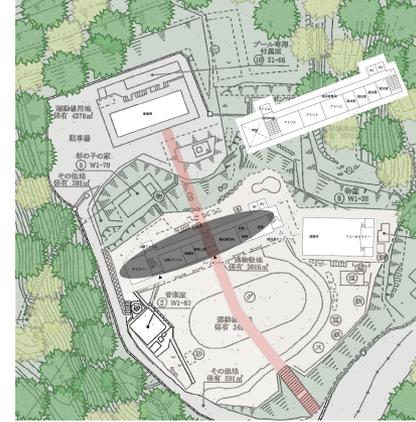
シェアアトリエ (3室)

一般客見学
可能エリア

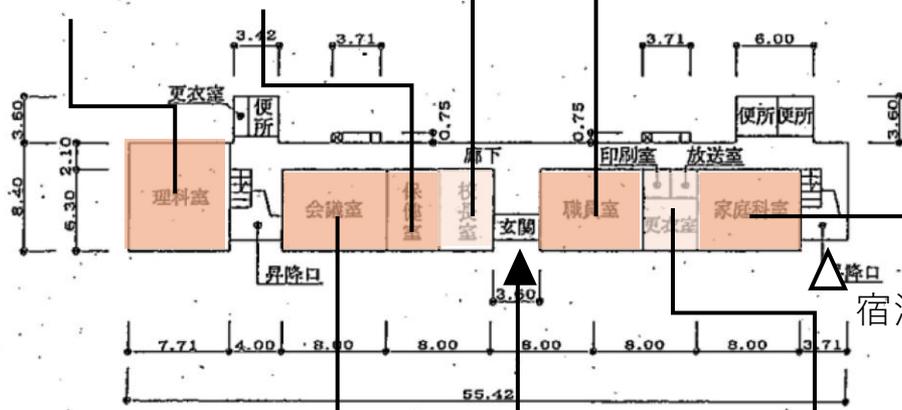
宿泊室 (4室)



⑥ 2階



ギャラリー 保健室 管理人室 観光案内所



⑥ 1階

食堂

宿泊客エントランス

倉庫・厨房

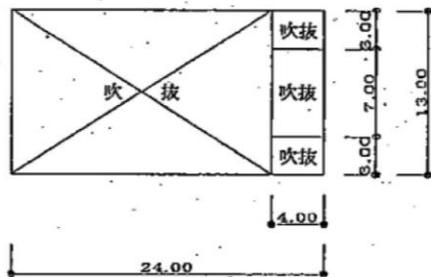
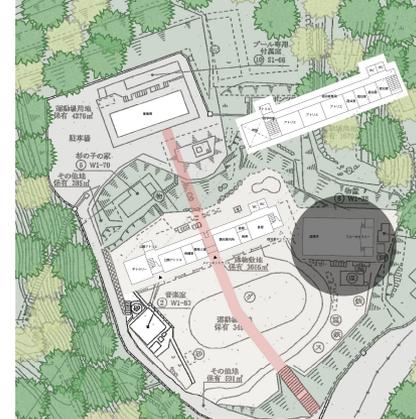
公開シェアアトリエ

メインエントランス

②体育館

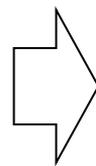
食とアートのフェスティバル

地域産の木材や廃材を使った空間デザイン
(古材をギャラリーの什器に再利用)



④

2階



○フリーギャラリー

公開アトリエ

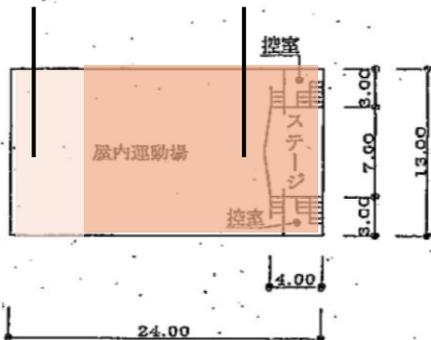
ワークショップ

作品展示

→経済の循環

アーティストによるワークショップで制作した作品を販売し、収益を活動資金に

産直所 フリーギャラリー



④

1階

○産直所

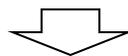
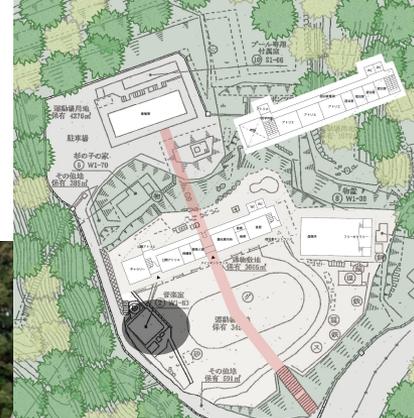
主に養殖の魚を販売



④音楽室（旧音楽室）

●現状

二本松市で**気軽に**楽器を演奏できる場所がほとんどない。



市民が気軽に利用でき、音楽を通じて交流できる場所とする。

音楽室として趣を残しながら
公共施設や教育施設の統廃合、あるいは更新のため余剰となった古い楽器を集めて、楽器の再利用や循環を試みる。

シェアアトリエ
兼宿泊施設 (2F)

養殖
栽培

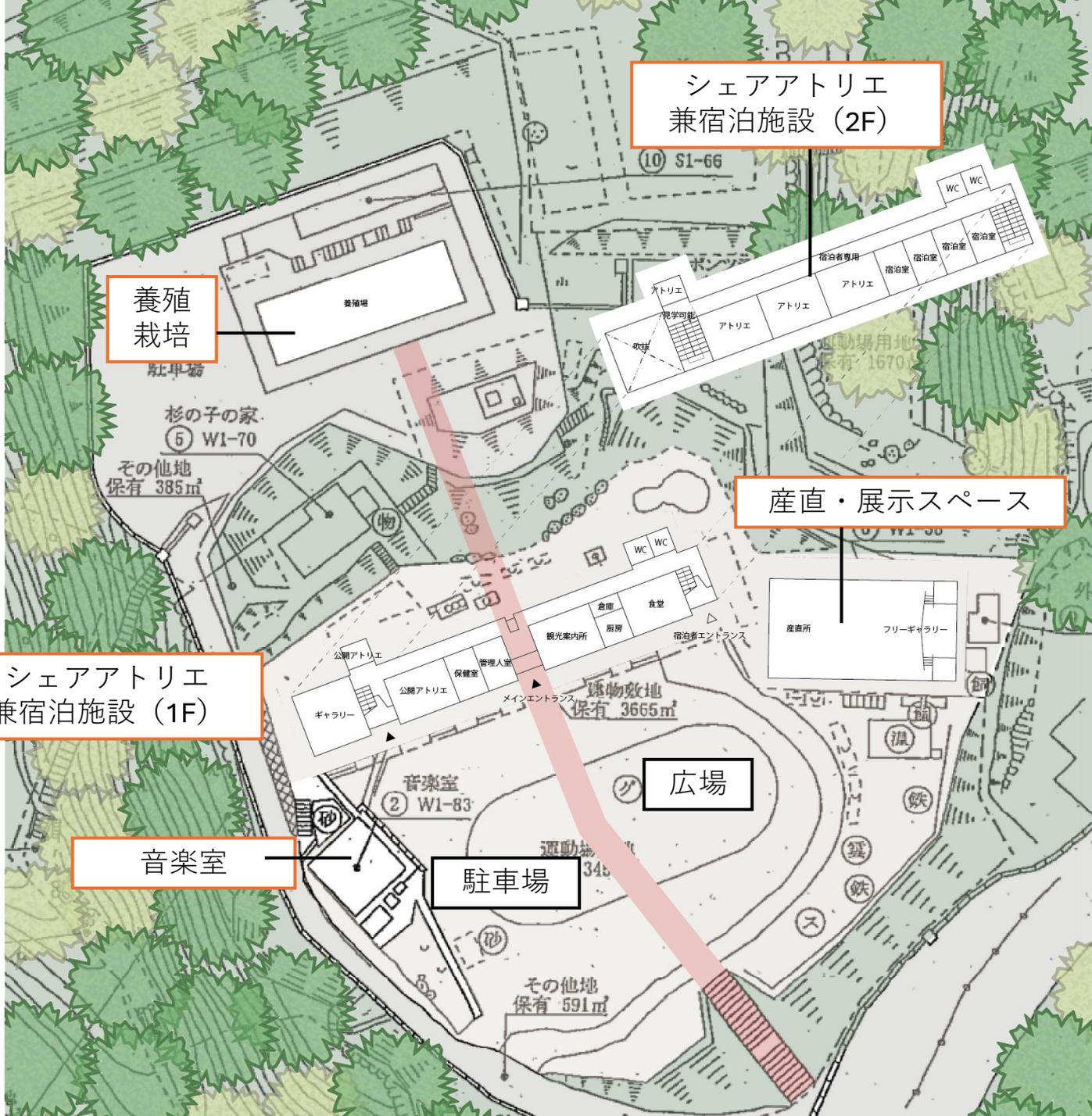
産直・展示スペース

シェアアトリエ
兼宿泊施設 (1F)

音楽室

駐車場

広場



参考文献

- 1) 子どものための居場所 | ふくしまグリーンキャンバス | 福島県二本松市
<https://www.fukushima-greencanvas.com/> (2025/01/30 閲覧)
- 2) スクールについて - 千葉県の絵画教室「千葉美アートカルチャースクール」
<https://chiba-art.com/aboutus> (2025/01/30 閲覧)
- 3) 和紙アート、県内外から力作44点 | お知らせ | 二本松市 | にほんまつDMO |
～菊と日本酒と温泉と… いま東北から新たな発信を～
<https://www.nihonmatsu-dmo.jp/news/2023/1165> (2025/01/30 閲覧)
- 4) 二本松の菊人形 (1) : 信夫の郷にて
<http://fuku-ozisan.cocolog-nifty.com/blog/2018/11/post-31b1.html> (2025/01/30 閲覧)
- 5) 重陽の芸術祭2019
<http://www.wa-art.com/chouyou/chouyou2019/index.html> (2025/01/30 閲覧)
- 6) アッセンブリッジ・ナゴヤが「アーティスト・イン・レジデンス」を中心とした新たな活動へ移行 - ART iT (アートイット)
https://www.art-it.asia/top/admin_ed_news/219613/ (2025/01/30 閲覧)
- 7) JSTORIES, 2023/9/22, 「陸上で魚を育てる: 福島発、環境に優しい新しい「ベニザケ」養殖」
<https://jstories.media/jp/article/raising-fish-on-land-environmentally-friendly-aquaculture-in-fukushima>
(2025/01/30 閲覧)
- 8) NTT東日本, 2023/7/20, 「「好適環境水®を用いた完全閉鎖循環式陸上養殖ビジネス化に向けた実証実験」の成果報告
～世界初となる「ベニザケ」養殖の成功と、いちい店舗での試験販売の実施～」
https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20230720_01.html (2025/01/30 閲覧)
- 9) FNNプライムオンライン, 2023/8/1, 「“ベニザケの陸上養殖”にNTT東日本などが成功!
“天然物”とどう違う? 試験販売での反響を聞いた」
<https://www.fnn.jp/articles/-/564629> (2025/01/30 閲覧)
- 10) NTT東日本グループ, 「サステナビリティレポート2024」
https://www.ntt-east.co.jp/sustainability/pdf/report/download/sustainability_report_html.pdf (2025/01/30 閲覧)
- 11) 明日はフグの日☆ - CAMPFIRE (キャンプファイヤー)
<https://camp-fire.jp/projects/616951/view/activities/434159> (2025/01/30 閲覧)
- 12) 枕木のアプローチ - 株式会社イノタニBLOG
<http://inotani.co.jp/wordpress/2016/10/29/rr-tie-approach/> (2025/01/30 閲覧)